

米子市の歌

保岡直樹 作詞

松田恭雄 作曲

1

はるか^{だいせん}大山^わ 湧く^{しみず}清水
なが^{ゆた}流れ豊かに^の すそ野^{ひら}を拓く
し^き四季^{めぐ}の恵みに^{かんしゃ} 感謝して
いのち^{はぐく}育む^{はぐく} ふるさとよ
みんなで^{うた}歌おう^{こころ} 心はひとつ
だんだん^{よなごし}米子市^{すす} 進むまち

2

かた^{かた}肩をよせ^あ合い^{はな} 花も咲く^さ
かおる^ゆ湯けむり^{ふれあう} ふれあう^{えがお}笑顔
こだい^{こだい}古代ロマンが^{いき} 息づいて
ひか^{れきし}光る歴史に^{はずむ} はずむ風^{かぜ}
かな^{ひと}奏^わでる人の和^{いろど} 彩^{ぶんか}る文化
いきいき^{よなごし}米子市^み 満ちるまち

3

ごらん^{なかうみ}中海^コハクチョウ
つばさ^{ひろ}広げて^{みなぎる} みなぎる力^{ちから}
にじ^{にじ}虹をかけた^いたい^{おおぞら} 大空に
ゆめ^は夢が羽ばたく^{にほんかい} 日本海
せかい^{むす}世界を結んで^{みらい} 未来を照らす^て
ぐんぐん^{よなごし}米子市^の 伸びるまち